



ESD-Jオンラインセミナー 2021.02.27

第4回 地域づくりのESD/SDGs



ESDを通じた地域の人材育成とSDGs

～ これからの学校教育とジオパーク教育 ～



伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会長

元伊豆市立天城中学校 校長 大塚 明



学校の位置



静岡県

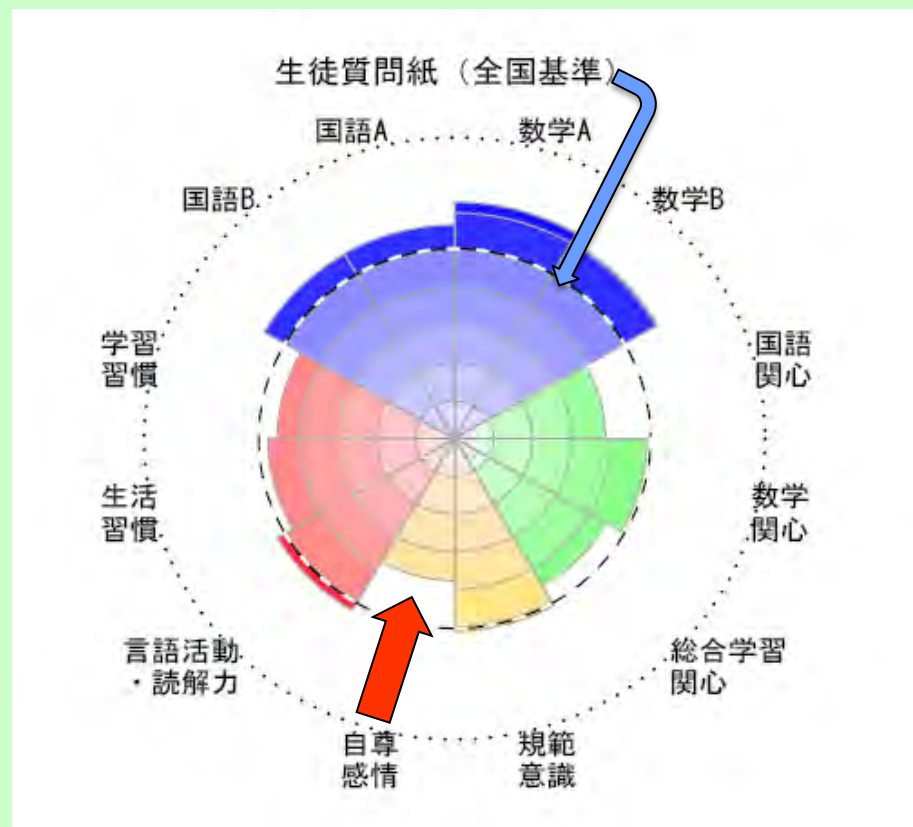
伊豆市立
天城中学校

伊豆市

ESDを始めたきっかけ その1

平成21年度 全国学力・学習 状況調査結果

自尊感情が
特に低い!



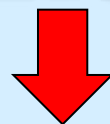
自尊心の低さからくる課題

自尊心

自己肯定感・自己有用感
自己効力感・アイデンティティー



自信 = 自分の可能性を信じる心



全ての学び・意欲・夢の原動力

もっと自分に自信を持ってほしい！

ESDを始めたきっかけ その2

ある授業の中で

将来住みたい所はどこ？

 **9割以上**の生徒が **東京・横浜！**

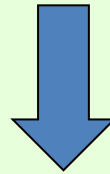
どれだけ自分たちの住んでいる
地域の良さ(すばらしさ)を自覚しているのだろうか？

自分たちの

住んでいる地域に誇りをもってほしい！

生徒の実態

天城に住んでいながら
地域のよさやすばらしさを感じてない

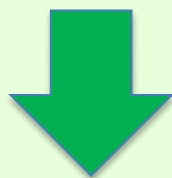


地域の自然や文化・歴史の
すばらしさを実感させたい

2つの教育課題の解決策を模索する中 ESD に出会う

?

ESD = 持続可能な開発のための教育



ESD = 持続可能な社会の担い手を育てる教育
(創り手)_{2017年～}

研究仮説

生徒が**自信**を持って行動 → **生きる力**

ESD



持続可能な社会の担い手を育てる教育

体験を通して**地域の良さ**を知る

自尊感情を高める

地域の人とつながる

地域に誇りをもつ

地域の**課題**から**未来像**を描く

自分たちに**できること**を**考え・行動**する

手だて ①

総合的な学習の時間を
ESDの視点で見直し組み直す

ポイント

- ① 地域での体験活動の重視
- ② 地域の人とのつながりの重視

総合的な学習の時間『天城学習』計画

福祉体験学習 1年 地域の福祉施設で直接体験学習

↓
デイサービス、介護老人保健施設、老人福祉施設等での体験を通じ、思いやりの心を育て、**よりよい生き方や共生の意味を考える。**

自然体験学習 1・2年 地域の自然環境で直接体験学習

↓
天城山の縦走を経験することにより身近な自然に変化があることを実感し、環境意識を高め、**地域の自然を持続するための方法を考える。**

職場体験学習 2年 地域の職場で直接体験学習

↓
地域を支える仕事や産業について考え、地域が現在の経済を維持し、**持続可能な発展をするためには何が必要かを体験をもとに考える。**

修学旅行 3年 → 地域学習 3年 地域の持続発展を提言

「2022年夢天城 ～10年後、天城の魅力を持続・発展しよう～」をテーマに、京都・奈良をモデル都市としてその魅力を探ると共に、天城の魅力や課題を新たに発見し、今後の**地域の持続発展を見据えた提言をする。**

手だて ②

「持続可能な社会の担い手づくり」
という視点で教育活動全体を見直す

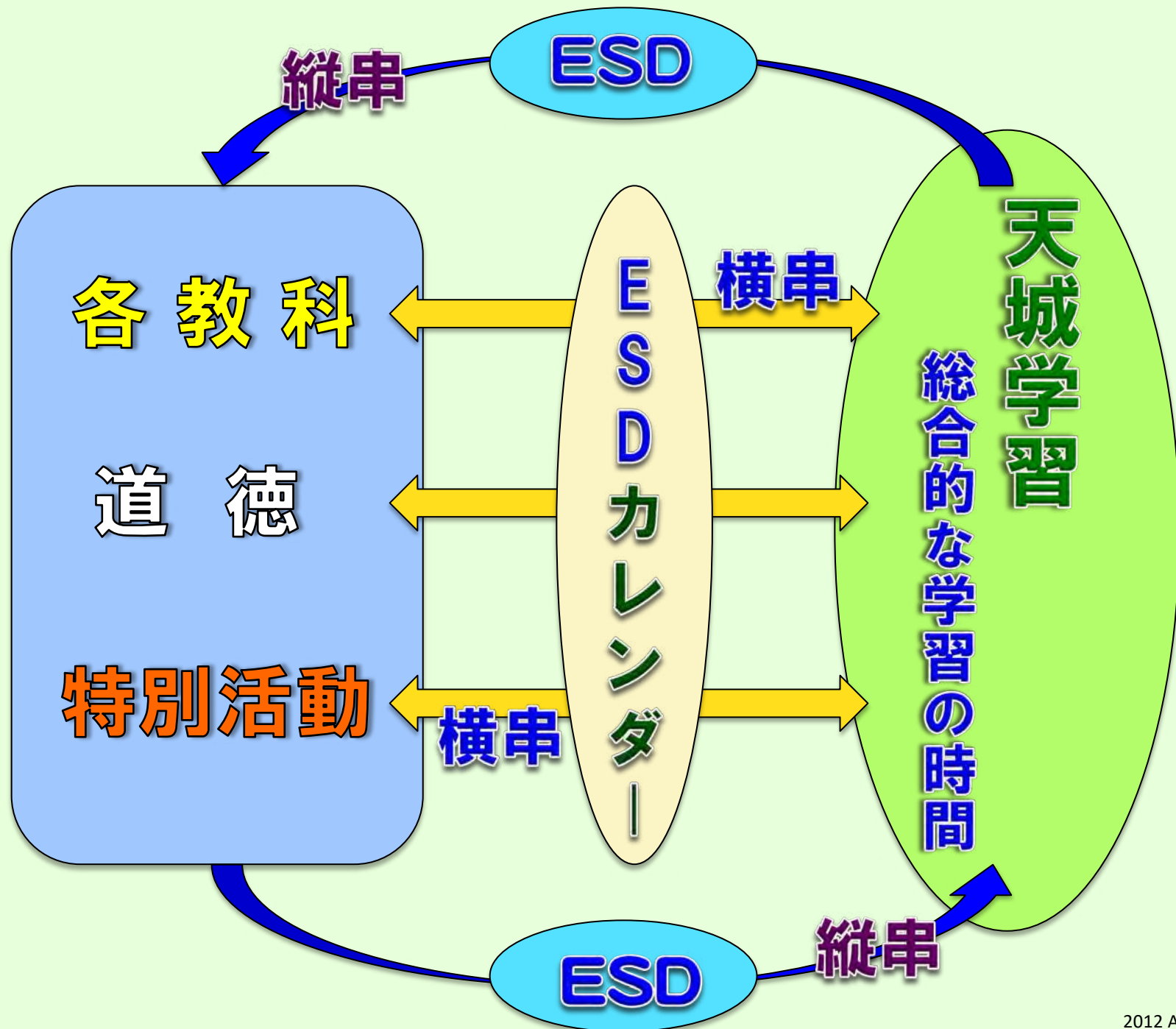
ポイント

各教科・道徳・特別活動との

横断的つながりの見直し

カリキュラム

マネジメント → ESDカレンダー



グローバルな視点

主に各教科で

Think Globally

地球規模で起きている課題の理解

地球温暖化

資源の枯渇

生物多様性の危機

戦争・紛争

食糧問題

飢餓・貧困 etc.

ローカルな視点

主に総合で

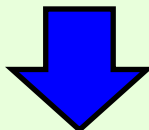
Act Locally

地域で起きている課題の理解し行動する

天城山のブナやマメ桜の枯損

鹿の食害 少子高齢化・過疎 etc.

グローバルな



視点

世界と地域の課題のつながりの理解

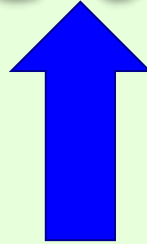
SDGs



目指すものは

21世紀を「生きる力」を身につける

ESD



自尊感情を高め

(持続可能な社会の担い手を育てる教育)

地域を「持続可能な社会」にしよう
体験と地域の人とのつながりから
学び・考え・行動する

総合的な学習の時間と地域のつながり

3 すべての人に
健康と福祉を

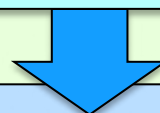


1年 福祉体験

11 住み続けられる
まちづくりを



福祉体験ガイダンス・福祉施設のオリエンテーション
車椅子体験・高齢者体験・アイマスク体験・認知症講座



グリーングリーンズ修善寺

安寧の郷

駿豆学園

田方ゆめワーク

天城デイサービス

総合的な学習の時間と地域のつながり

15 陸の豊かさも
守ろう



14 海の豊かさを
守ろう



1・2年 自然体験

天城自然
ガイドクラブ

登山ガイド
安全確保

イズシカ問屋

林野庁
伊豆森林管理署

森林学習(事前学習)
鹿防護柵の器材準備
環境省への許可申請
登山の安全確保

13 気候変動に
具体的な対策を



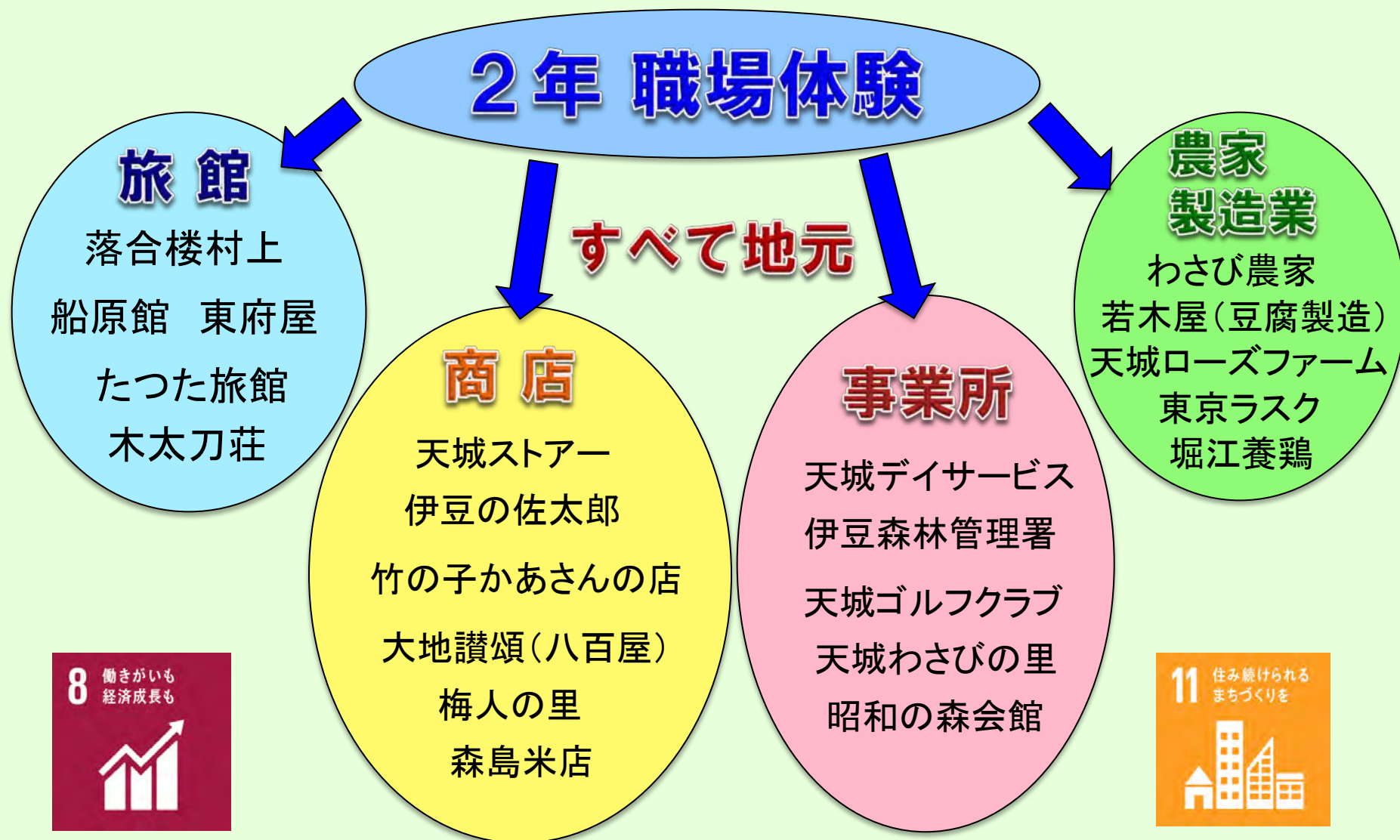
NPO法人

天城こども
ネットワーク
伊豆自然塾

ネイチャーゲーム
野外活動

有害鳥獣捕獲隊

総合的な学習の時間と地域のつながり



天城を持続可能な地域とするために

8 働きがいも
経済成長も



3年 修学旅行 国際都市 京都・奈良に学ぼう

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



天城の産業興し



京都市役所

- ・環境政策局
- ・都市計画局
- ・産業観光局
- ・文化市民局
- ・建設局

観光情報センター

清水寺門前会

景観まちづくりセンター

天城の人づくり



京都市体育協会

景観まちづくりセンター

龍安寺

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



天城の幸せづくり



清水寺社務所

京エコロジーセンター

下鴨神社

平等院社務所

ひと・まち交流館

景観まちづくりセンター

天城を持続可能な地域とするために



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

3年 地域学習

Only One な地域づくり

天城の産業興し

伊豆市役所

- ・観光交流課
- ・農林水産課
- ・観光商工課
- ・環境衛生課

伊豆市観光協会

修善寺総合会館

森嶋米店

天城の人づくり

伊豆森林管理署

浄蓮の滝観光センター

昭和の森会館

天城ミュージアム

木村屋製菓

東府や

天城会館

慶友病院

高台寺

弘道寺

日赤病院

天城の幸せづくり

明徳寺

山葵農家

夕鶴記念館

虹の郷

落合楼村上

東京ラスク

天城湯ヶ島商工会

中島病院

大龍寺

妙本字



ESDの実践により

様々な

予期せぬ成果が現れた！

（予定調和でないことに価値がある！）

東日本大震災の被災地への学用品支援に 生徒会が立ち上がり 全校生徒に呼びかけた！



気仙沼に学用品を

伊豆天城中
12日には活動に賛同した生徒が文房具や体操着、手掛け袋、ランドセル、弁当箱などを次々と持ち寄り、生徒会執行部が品目ごとに受け付け

た。生徒会長の三田悠太郎3年は「予想以上に多くの学用品が集まり、驚いた。ユネスコスクール加盟時にお世話になった宮城県の学校に恩返しをしたい」と語る。

同校はユネスコスクール認定前の一昨年、担当教員が気仙沼市立方面（おもてせ）中と鹿

ユネスコ認定校協力のお礼に

折しおりの中を視察して手続きの方法を学んだ。震災後にユネスコスクール認定校で組織する団体から学用品寄付の依頼が加盟校にあり、本年度の始業式で校長から依頼の話を聞いた生徒会執行部が、全校生徒に学用品の提供を呼び掛けた。

気仙沼市は、持続可能な社会の実現を目指すユネスコスクールの先進地で、1月現在、小学校20校、中学校11校、高校2校が加盟する。集まった学用品は気仙沼市教委を通じて被災した児童・生徒に配られるという。



4月15日（金）
東北大学と宮城教育大学を通じて
ユネスコスクールの仲間へ
送付しました

第1回持続発展教育(ESD)大賞



生徒の自尊感情にプラスの影響

天城の自然を守りたい！

鹿の食害を防ぎたい

ブナを**植林**したい

マメ桜を守りたい

伊豆森林管理署に相談

国立公園内では、**植林**など人が自然に手を加える事は**禁じられている**！

15 陸の豊かさも
守ろう



鹿防護柵なら許可が取れる
森林管理署と協働して鹿柵を作ろう

14 海の豊かさを
守ろう



つげ峠鹿柵プロジェクト

食害による森林荒廃で設置

責争

天城中生がシカ防

つげ峠
2カ所 延長50メートル

伊豆市立天城中学校(大塚明校長)の3年生70人が19日、伊豆森林管理署の事業に協力し、伊豆山稜線歩道沿いの「つげ峠」(標高960メートル)にシカ防護柵を設置した。



同校は、で天城の自る。3年生時に天城森を体験。天にも、シカよる森林荒び「自分たることがし伊豆森林管理

国際森林年を記念し、持続発展教育(ESD)組んでいる伊豆市立天城中の3年生64人が19日、林管理署や天城自然ガイドクラブと連携し、伊豆伊豆町の境にある伊豆山稜線をつげ峠(標高960メートル)の国有林に、シカの食害を防ぐための防護柵を設

伊豆・天城中3年生

シカ食害 防護柵を設置

つげ峠はブナがたり倒れたりする生シカが木の芽新しい木が育たなっている。防護柵害を防ぐことで森助けるのが狙い。生徒は森林管理城自然ガイドクラフの指導で2カ所設置した。高さ2メートル製の網で国310平方メートルを覆

つげ

活動が新聞に掲載されました

同校は、持続可能な活動に向けて自らに何ができるかを考える「天城学習」に取り組んでいて、3年生が学習の集

成として実施した。3年の内田智彩さんは「50年後に成果が出るプロジェクト。数年後に木が生えているといい」とい

の植生助ける



シカ防護柵を設置する生徒＝伊豆山稜線をつげ峠

災害

狩野
流域

メル

生徒たちは学バスで林道沿いの

伊豆日日新聞

2011.10.20

伊豆日日新聞

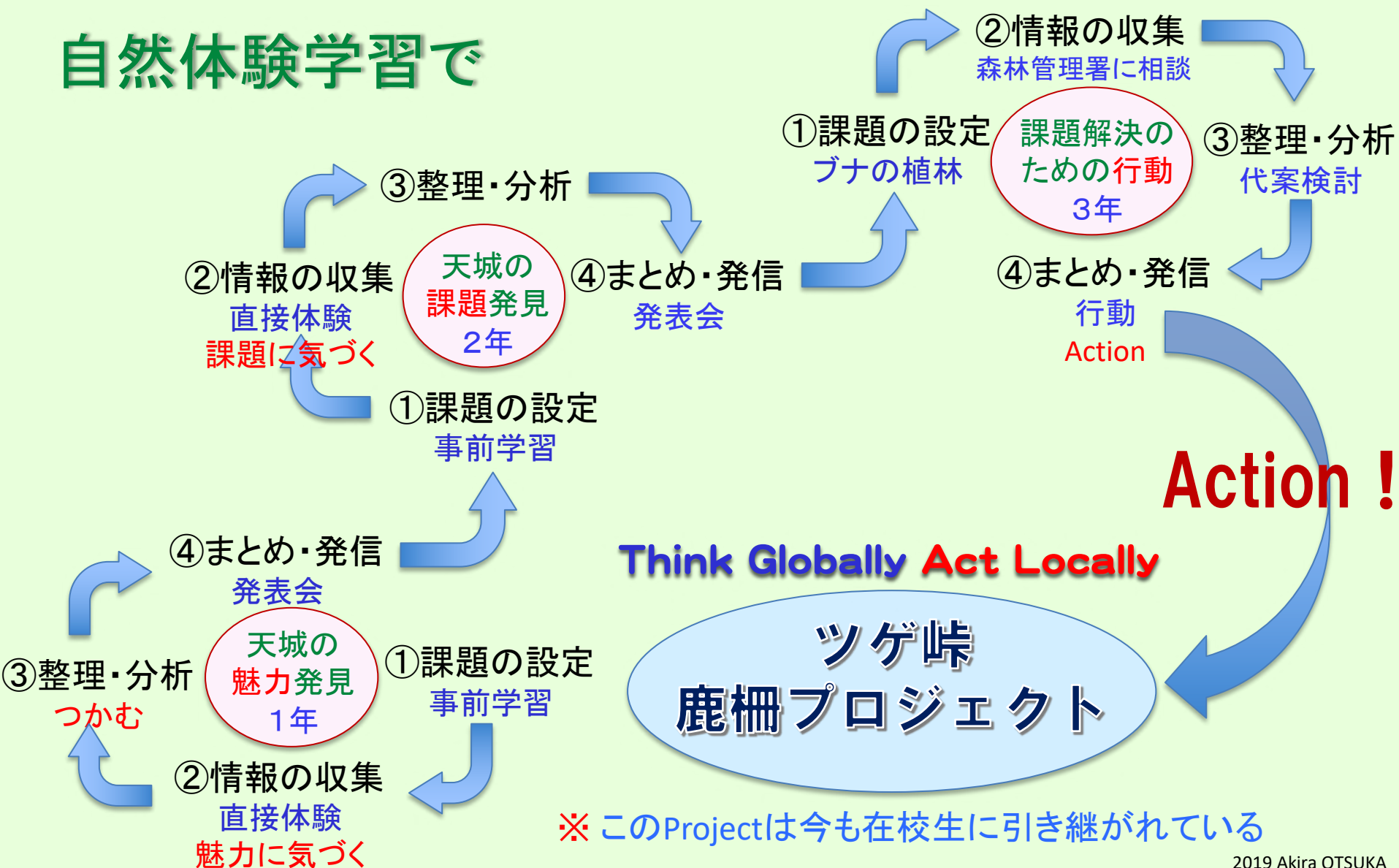
伊豆日日新聞
伊豆の国市三福191-1
〒410-2321
電話0558(76)4760
FAX0558(76)4725

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話0557(36)1234

ホームページ
<http://www.izu-np.co.jp/>

探究のサイクルが回った！！

自然体験学習で



〈 ESDに取り組んだ最大の成果 〉

生徒が**自信**を持ち、**主体的**に動くようになった

体験や調査を通して地域の課題に気づき
天城学習発表会で自分たちの考えを
地域に向けて発信できるまでに成長した

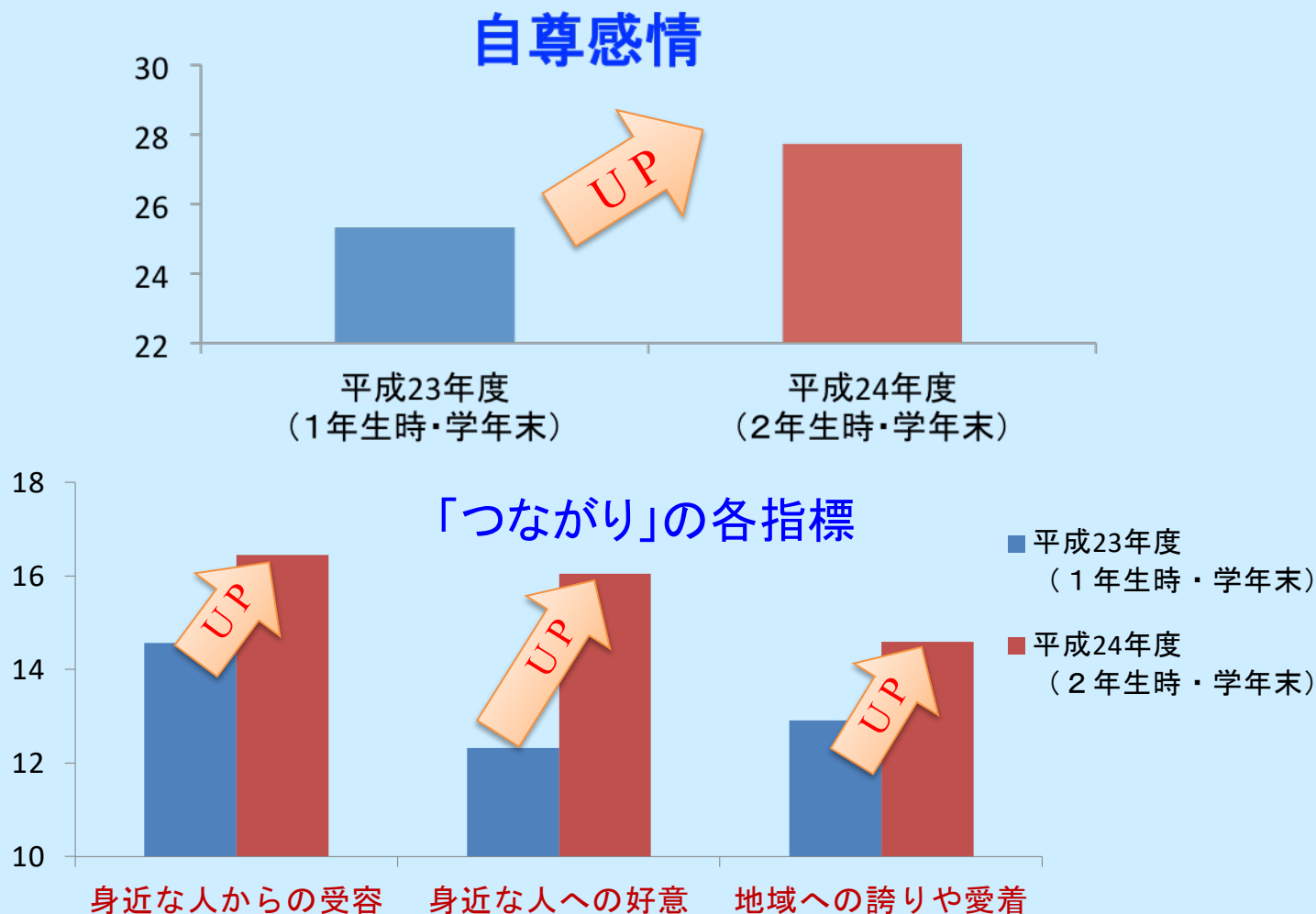
自分の夢や将来像



へと結びつく

保護者や地域の方からの賞賛
市長からの高い評価
「市の職員として採用したい！」

自尊感情と「つながり」に関する各指標の1年間の得点推移



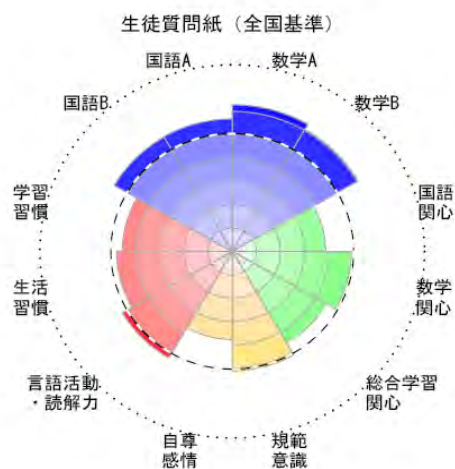
全国学習状況調査の比較

H21年度・H26年度・H29年度

H21年度 3 年生

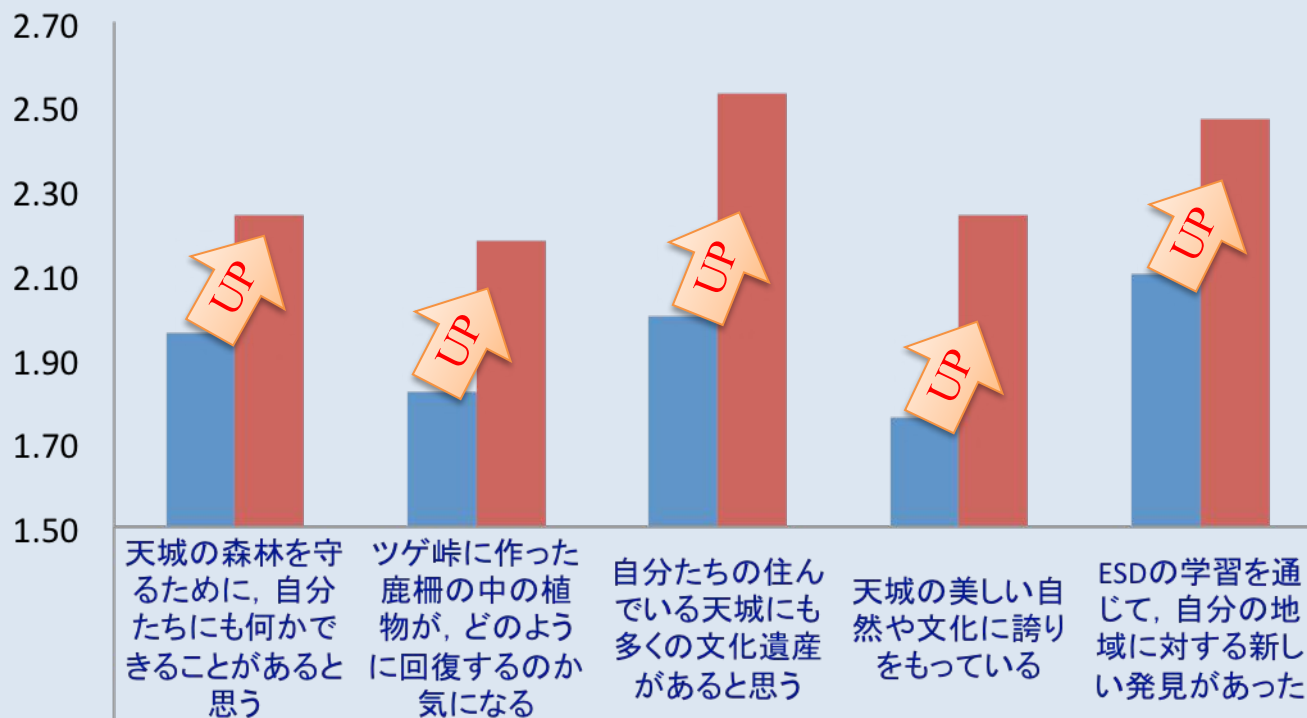
H26年度 3 年生

H29年度 3 年生



自尊感情の項目が全国を越える！

天城学習への理解に関する質問項目の1年間の得点推移



■ 平成23年度 (1年生時・学年末)	1.96	1.82	2.00	1.76	2.10
■ 平成24年度 (2年生時・学年末)	2.24	2.18	2.53	2.24	2.47

ESDの学びと自尊感情は・・・

人や地域とのつながり

自尊感情に影響を与えた因子

- ① 身近な人からの賞賛
- ④ 友人への好意や理解
- ③ 地域への誇りや愛着

外からの受容

相互理解

誇りや愛着

自然体験

福祉体験

地域学習

自分に自信がもてるように

自尊感情

ESD実践の要素

地域での自然体験(天城縦走)

福祉体験を通した思いやりの心

地域の職場や文化の体験

生きる力

**生徒の
「自尊感情」や「地域への誇り」は
ESDの実践における
「つながり」
の中で生まれた！**

身近な人からの受容
(地域の人との**つながり**)

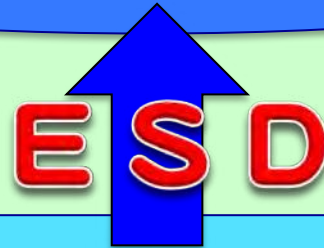
地域との**つながり**
(地域との**つながり**)

身近な人への好意
(人との**つながり**)

**ESDの概念を
含む実践**

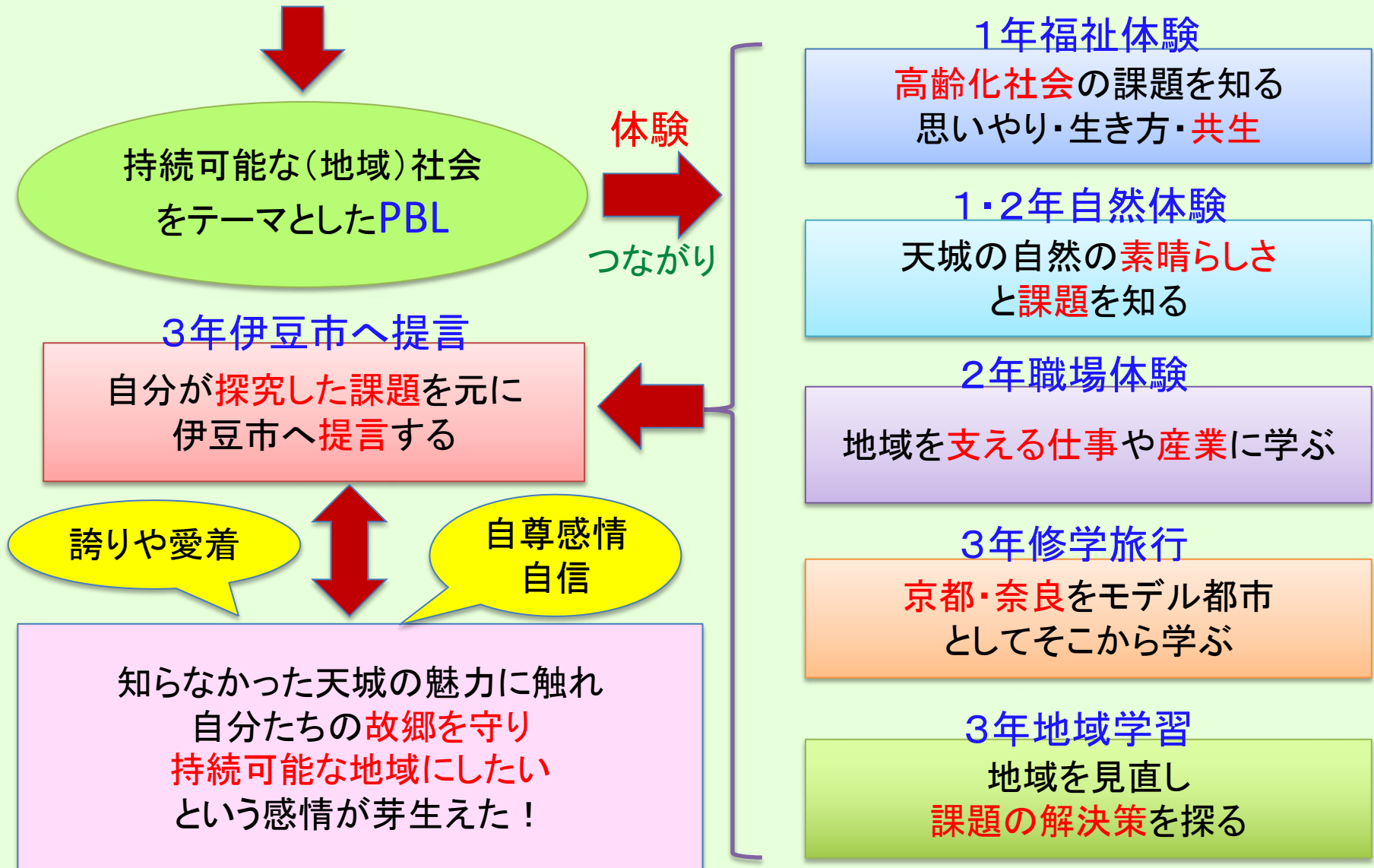
ESDの実践を通して

価値観が多様化し、問題が複雑
に絡み合って答えの見えない
21世紀を生き抜く力



ESDは「つながりを喪失した」
子どもたちの「つながりの再生」を
促し生きる力を育むための学び

天城学習から何を学んだか？



卒業後の進路選択に大きな影響！

人間社会学地域創造学類へ進学

ESDを通して地域の魅力を知った私は将来地域に貢献できる仕事がしたい。

UH大学1年

国際医療福祉大学へ進学し看護師に

私はESDを通して助けが必要な人のために看護師になりたいという夢をもちましたUM社

会人2年

教員養成系の大学へ進学

故郷を持続可能にするための学習は地域貢献だけでなく自分の成長の大きな手助けになった。

KT大学1年

伊豆市総合政策部総合戦略課

地元を知り、考えるきっかけを与えてくれたのが正に天城学習である。

社会人5年目

ESDの学びから地域創生へ

地域舞台としたESD
答えのない問いの探究

自然体験

感動！

大自然の雄大さ
底知れぬ魅力

地域に対する
誇り・愛着
地域愛

様々な体験

地域の課題
に気づく

自分ごと

何とかしたい
仲間と共に悩む

賞賛

提言

自分なりの答え

体験

様々な
つながり

自尊感情

地域を
誇る

人と
つながる

自信

仲間意識

人から受容

将来は地域に貢献できる仕事がしたい！

持続可能な社会の創り手となる

ジオパークは世界遺産やBR:生物圏保存地域(エコパーク)とともに

「持続可能な開発目標 SDGs」をも担う



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO
Global
Geoparks

UNESCO Global Geoparks



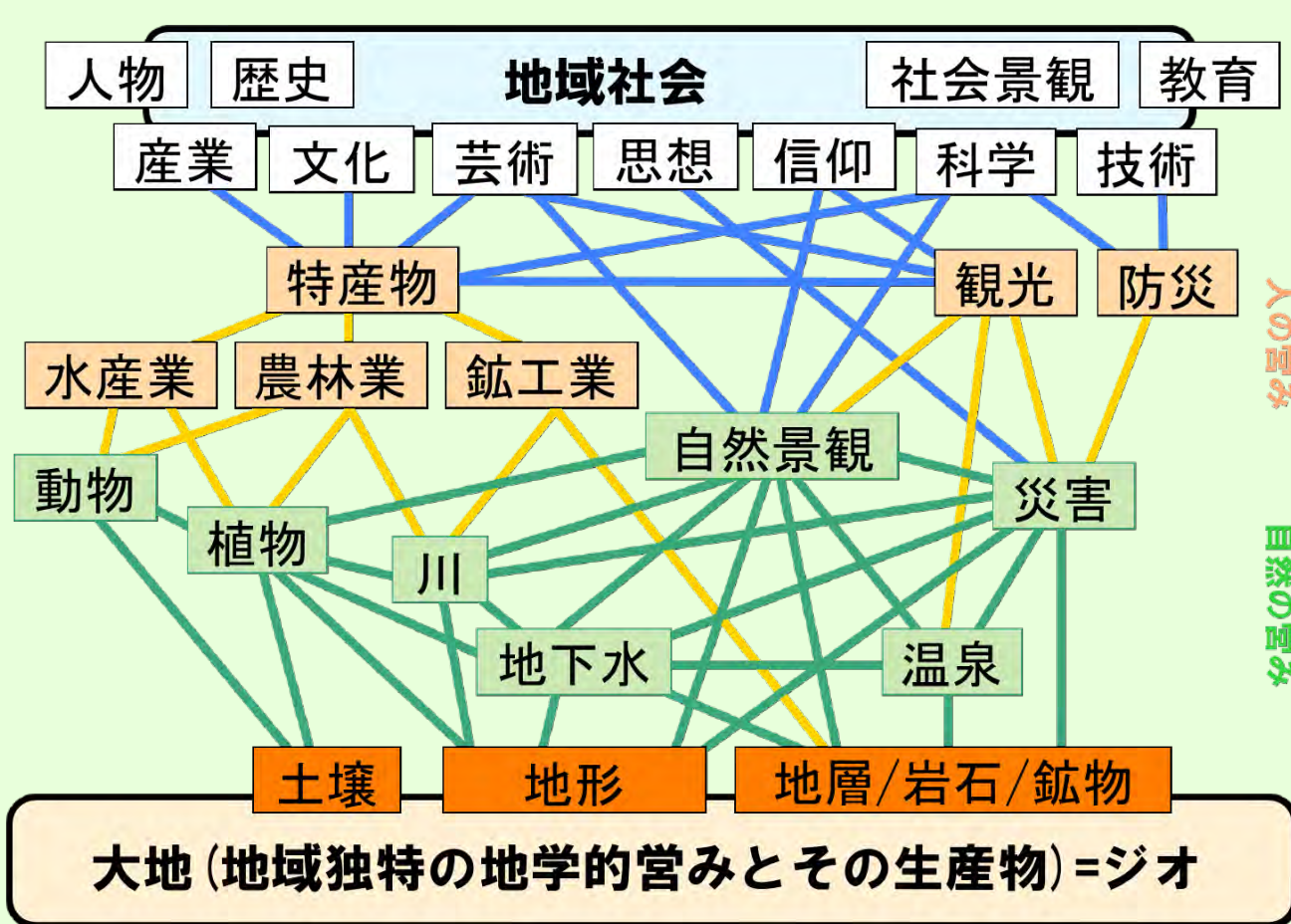
伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

are single, unified geographical areas where sites and landscapes of **international geological significance** are managed with a holistic concept of **protection, education and sustainable development**.

「ジオパーク」とは、ESDの推進や世界遺産などと同様に
ユネスコが推し進めているプログラム
地質学的にみて国際的に価値のあるサイトについて
「保護」「教育」「持続可能な開発ESD」が一体となった概念
により管理されたエリアが、ジオパークとして登録されている

are generated through **geotourism**, while the geological resources of the area are protected.

ジオパークの方法



人の営みから
自然の営みを

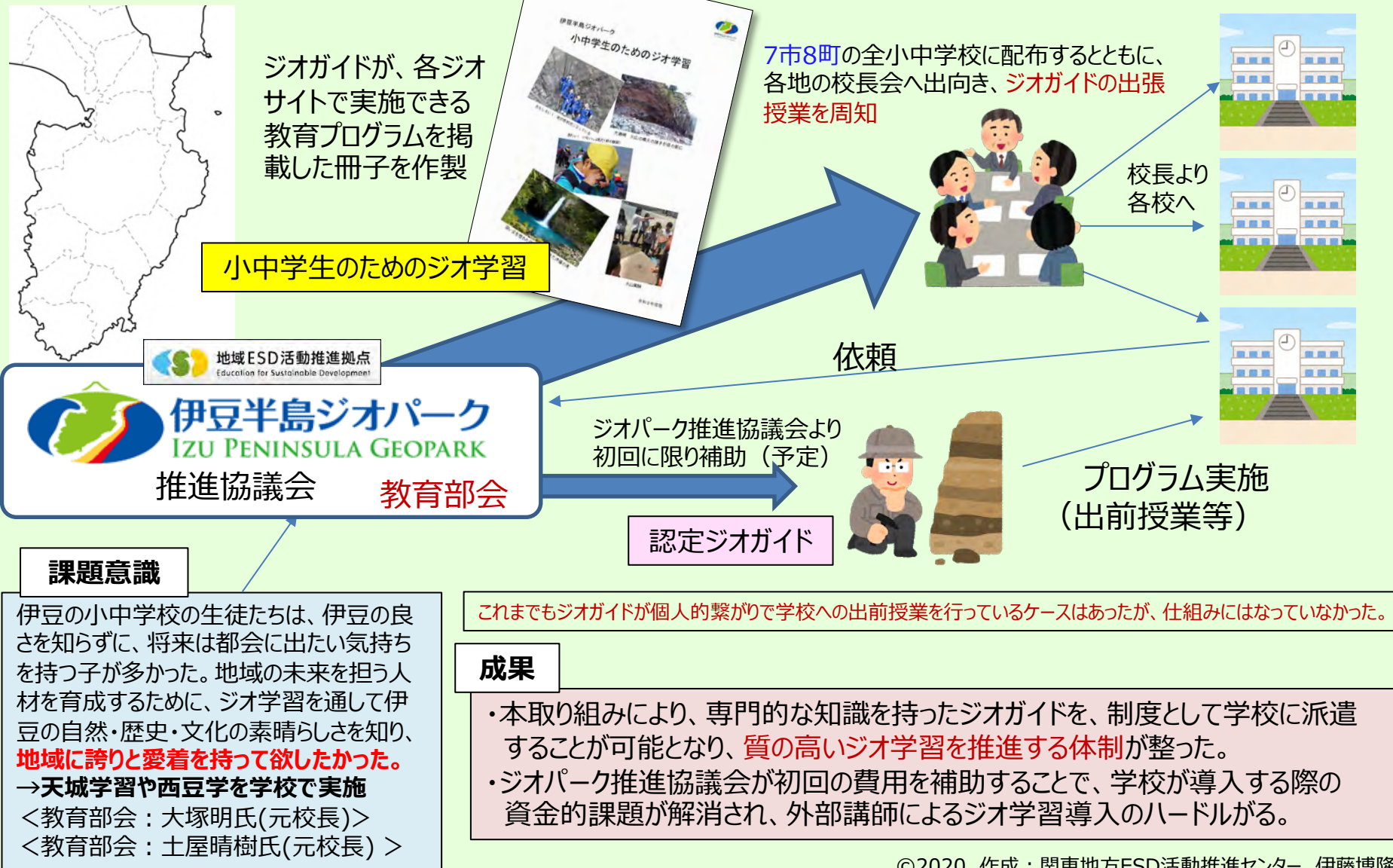
自然の営みから
人の営みを

相互理解することがスタート

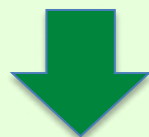
ジオパークの視点で見る世界のとらえ方 小山 (2010)

伊豆半島ジオパーク協議会 資料より

伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会の取り組み



ジオ（大地）から学ぶ学習



ブラタモリ的な学び

地域を持続可能な社会にするための学習

昔その土地に移り住む



土地に合った作物を育てる



その土地に産業・文化が生まれる



様々な歴史のを経て現在に至る →

大地の成り立ち（ジオ）



地域の特色や課題

つながりを学ぶ
（ストーリーを知る）

故郷に対する
誇りや愛着を育む

※ 地域の課題を解決するためにできることは何かを探究する

↓（現代的課題＝SDGs）

子どもにとって自分事になりやすい → アクティブラーニング

ジオ 大地と地域とのつながりを考える

産物
(食)

天城でワサビが特産なのはなぜ？

石畳式栽培(世界農業遺産)

湧き水が豊富

水温が一定

伊豆は雨量が多い

多孔質の火山岩

伊豆半島は火山の島

観光地
(景観)

伊豆にたくさん滝があるのはなぜ？

火山噴火

溶岩流

柱状節理

天城連山

狩野川

たくさんの支流

伊豆半島は火山の島

伊豆に温泉が多いのはなぜ？

旅館
(温泉・湯治)

地熱

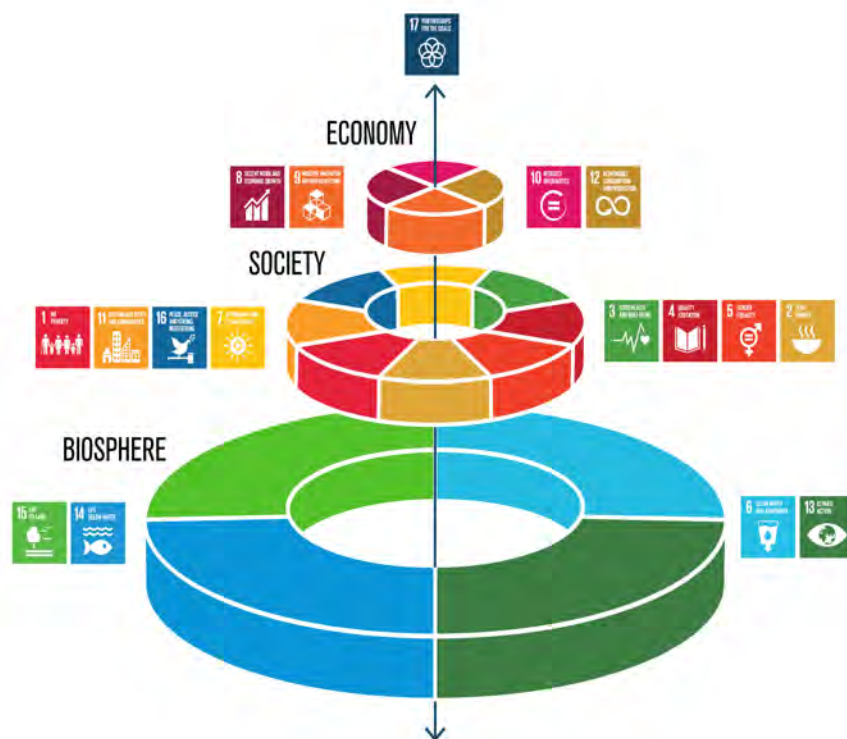
地下のマグマ

熱水鉱床

伊豆半島は火山の島

大仁金山
土肥金山
持越金山

ジオパーク教育と地方創生



- 環境・社会・経済のつながりを学ぶ
- 大地の成り立ちとのつながりを学ぶことで地域に対する誇りや愛着が育まれる
- 地域への愛着が課題解決への行動を促す



持続可能な地域の創り手に！

ジオ（大地・地球）

ESDが示す新しい教育の方向

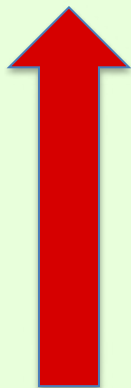
ESD

持続可能な社会
とは？

正解のない問い

PBL

アクティブ
ラーニング



主体的
対話的
深い学び

探究の過程

正解だけを求める教育

生徒の学び

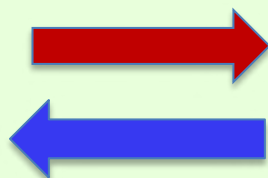
探究の過程を通して
学び方を学ぶ

先生の役割

ファシリテーター
コーディネータ
生徒と共に探究する

ESDから見たSDGsとの関係

持続可能な社会
にするためには？



持続不可能な社会
(現在の世界の状況)

正解は誰にもわからない
(答えのない問い)

様々な要因が
絡みあっている

ESD

解くための羅針盤

考えるためのヒント

解決しなければ
ならない課題は

様々な解が考えられる
17の目標はすべて関連している！



SDGs

17の目標
169のターゲット

10～20年後の世界

2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの
65%は大学卒業時に**今は存在しない職業**に就くだろう。

〈2011年8月 デューク大学 〉

日本の労働人口の**49%**にあたる職が
10～20年後には**人工知能**や**ロボット**に代替可能に

〈2015年12月 野村総研・オックスフォード大学〉

代替可能な職業 = 決められたことを決められた通りに実行する(**正解のある仕事**)

創造性・協調性が必要な職業が残る！

今必要な学力観の転換

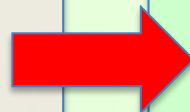
〈20世紀の故里観〉

仕事が無いから帰れない！



(都会にしか仕事が無い)

志を果たして帰る所



〈21世紀の故里観〉

仕事を創りに帰りたい！



(都会では出来ない仕事をする)

志を果たしに帰る所

使えない知識の量 → 新たな価値を創る力
(故郷を捨てる学力 → 故郷を活かす学力)

これからの教育の目指すところ

～ 21世紀に於ける教育の変革 (transformation) ～

- ① 体験を通して本物を学ぶ (実感を伴った理解)
- ② 知識の量より学び方を学び、知識を
活用できる力をつける (批判的思考力と活用力)
- ③ 正解がない問いに
自分なりの解を導く力 (根拠をもって解を導く力)

↓
鵜呑みにしない

持続可能な世界の創り手を育てる

〈 私がSDGsに取り組むようになった理由 〉

私はNHKの「クローズアップ現代」で
現代的な課題を取り上げ
その解決策を模索してきました。
ところが、一つの課題の解決策を見つけると
その解決策が、また新たな課題を生み出す
ことに気づいたのです。

国谷裕子氏の言葉

ESDとSDGs

SDGsの達成には教育(ESD)が不可欠！

ESDで世界を変えるための17の具体的目標



SDGs達成に向けて
ESD for 2030

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



実践内容を詳しく知りたい方は

「持続可能な社会の創り手を育てる教育」
「自尊感情」をテーマとした中学校のESD実践記録



著者 大塚 明
出版社 長倉書店
定価 2,300円
(税別)

ISBN 978-4-88850-
079-1

※ 楽天・Amazon等
で購入できます。